

IKEAキッチン施工について

他社施工・ご自身で施工されるお客様へ



目次

FAKTUM/ファクトウム キッチンキャビネットフレームを購入されるお客様へ.....	3
壁固定・床固定について.....	3
お客様にご用意していただくもの.....	3
キャビネット、扉、引き出し前部、カバーパネルのサイズについて.....	3
カットや穴開けの加工が必要なもの.....	4
キャビネット・脚・扉・カバーパネル・ロールフロントキャビネットについて.....	4
INTEGRAL スライドレール組み立てについて.....	5
ワークトップ・シンク・水栓について.....	6
NUMERÄR /ヌメレール ワークトップについて.....	7
幅80cmのFAKTUM /ファクトウム ベースキャビネットを取り付ける際の注意点.....	8
サスペンションレールを使用したFAKTUM /ファクトウム キャビネットの壁への取り付け方法.....	9
奥行き37cmのFAKTUM /ファクトウム キャビネット 引き出し取り付けの場合の壁固定の方法.....	10
サスペンションレールを使わずにFAKTUM /ファクトウム キャビネットを壁へ取り付けの方法.....	11
FAKTUM /ファクトウム キャビネットの背面にカバーパネルを取り付ける際の注意点.....	12
高さ13cmの扉材を使ってシンクやフィッシュグリルなしコンロにファイラー処理する際の注意点.....	12
奥行き37cmのFAKTUM /ファクトウム キャビネットへの脚取り付け方法.....	13
3段と5段の引き出しに、引き出し前部（前板）を取り付ける際の注意点.....	14
ヒンジ穴のある開き扉を引き出し扉として使う場合の取り付け方法.....	15

給水/給湯 排水管床立ち上げ位置図..... 16~20

Electrolux社製の設備機器の設置について

ELDIG/エルディグ コンロ&MUMSIG/ムムスイグ オープン設置の注意点.....	21~23
MUMSIG/ムムスイグ オープンをハイキャビネットに設置する場合の注意点.....	24~25
RENLIQ/レーンリグ DW60食器洗い機設置の注意点.....	26

FAKTUM/ファクトウム キッチンキャビネットを購入されるお客様へ

FAKTUM/ファクトウム キッチンキャビネットフレームをご購入いただきましてありがとうございます。

FAKTUM/ファクトウムは組立のみではなく施工をともなう商品ですので、下記のチェックされた項目につきましては、**お客様ご自身での加工が必要となります**。商品に同梱されている「組立説明書」、お渡ししている「キッチン設置のためのDIYガイド」とこの「IKEAキッチン施工について」をご参照のうえ、ご不明な点につきましてはキッチンエリアセールススタッフまでお問い合わせください。

壁固定・床固定について

FAKTUM/ファクトウム キッチンキャビネットフレームは固定が必要な商品です。安全にご使用いただくため、FAKTUM/ファクトウムを壁に寄せて設置する場合は壁に固定し、アイランドでご利用いただく場合は床に固定してください。

壁、床にはさまざまなタイプがあります。ご自宅の壁材、床材に適した金具をお選びください。壁固定の場合、下地工事が必要な場合があります。専門家（工務店など）に必ずご相談ください。

お客様にご用意していただくもの

□ 壁に固定するためのビス

サスペンションレールを使う場合はΦ4.5mmくらいのビスとワッシャーを用意ください。

ビスの長さは下地によって変わりますが、45mm程度を目安にお選びください。

□ L型金物+ビス

アイランド仕様でキャビネット背面にカバーパネルを取り付ける場合（12ページ参照）

高さ13cm前板を固定する場合

□ ワークトップを固定するためのビス

奥行き37cmのウォール キャビネットにワークトップを使用する場合

PRÄGEL/プレーゲル ワークトップ、NUMERÄR /ヌメレール ワークトップ、PERSONLIG/ペルソンリグ 人工大理石ワークトップ&PERSONLIG/ペルソンリグ ステンレスワークトップをキャビネットに固定するためのビス（35mm程度の長いネジが必要）

□ 奥行き37cmのウォールキャビネットを床に置いて使用する場合の脚取り付けのためのビス（4、13ページ参照）

キャビネット、扉、引き出し前部、カバーパネルのサイズについて

FAKTUM/ファクトウムキャビネット：

奥行き：ウォールキャビネットは約355mm、ベースキャビネットは約580mm

幅：キャビネットの種類によって異なります。

扉、引き出し前部：

材質、仕上げによって厚みが異なります。

カバーパネル：

材質、仕上げによって厚みが異なります。

扉または引き出しを付けた総奥行きは、キャビネットの奥行き+扉または引き出し前部の厚みで決まります。

イケアのキャビネットはすべて組み立て式です。ネジの締め具合などにより、仕上がりサイズが若干前後する場合があります。

ワークトップとのチリを計算したり、タイルの割付などを計算する場合は、ご注意ください。

詳細はセールススタッフにご確認ください。

カットや穴開けの加工が必要なもの

・カットが必要なもの

- ワークトップ 幅・奥行き
(PRÄGEL/プレーゲル、NUMERÄR/ヌメレール)
- カバーパネル
※ABSTRAKT/アブストラクトのパネルをカットする場合は、あらかじめ養生テープでマスキングする必要があります。
- 蹴込み板
- サスペンションレール
- デコストリップ
- 幅120cm、60cm、40cmのキャビネットにシンクを取り付ける場合は、キャビネット上面のパーツを一部カットする必要があります。
- FRAMTID/フラムティドIHコンロを幅60cmのコンロ用キャビネットに設置する場合、キャビネット上面後方の木枠を一部カットする必要があります。

・穴開けが必要なもの

- 取っ手 取付穴
- ワークトップへのシンク・コンロ・水栓金具等 取付穴
- ウォールキャビネット/ハイキャビネットを壁固定する際の下段用の穴 (9ページ参照)
- 幅80cmのFAKTUM/ファクトム ベース キャビネットの上部金属フレームのワークトップ取付穴 (8ページ参照)

キャビネット・脚・扉・カバーパネル・ロールフロントキャビネットについて

・FAKTUM/ファクトム 脚を使用する場合

- 製品に付属の組み立て説明書は全世界で共通です。組み立て説明書には、キャビネットを連結して設置する際に連結部の中心に脚を取り付けるように説明されていますが、日本では、耐荷重を増し、レベル調整が簡単にできるよう、1つのキャビネットに4本の脚を取り付けるようご案内しています。キャビネット1つにつき、脚を4本取り付けてお使いください。ただし、幅120cmのキャビネットには脚を6本取り付けてください。幅90cmのコーナーキャビネットには脚を8本取り付けてください。

・CAPITA/ カピタ・UTBY/ウトビー 脚を使用する場合

- FAKTUM/ファクトム 脚と同様、キャビネット1つにつき、脚を4本取り付けてお使いください。ただし、幅15cmのキャビネットには取り付けプレートを2つ並べて取り付けられません。この場合は連結部の中心に脚を取り付けるか、プレート位置をずらして取り付けてください。
床固定をする場合、床暖房設置部分には使用できません。

・奥行き37cmのウォールキャビネットを床に置いて使用する場合

- FAKTUM/ファクトム 脚の取り付けについては、突起部分をカットしてキャビネットに取り付ける必要があります。「IKEAキッチン施工について」の13ページをご参照ください。(取付用ビスは別途ご用意ください。直径3mm×15mm)
- 3段または5段引き出しを使用でサスペンションレールに固定する場合、「IKEAキッチン施工について」の10ページをご参照ください。(5段引出しの場合は別途ボルトとナットをご用意ください。)

・幅120cmのコーナーキャビネットを使用する場合

- 幅は120cmのキャビネットをコーナー用としてL字レイアウトで別のキャビネットに連結させる場合は、2つのキャビネットの間にフィラーをはさみます。100mmのクリアランスをとるフィラー材が同梱されていますが、面材によっては、その上にカバーパネル・扉材を貼る必要があります。詳細はセールスタッフにご確認ください。

また、コーナー用ではなく観音開き仕様にして単体でもお使いいただけます。

・扉にヒンジ（蝶番）を取り付ける場合

- 扉に掘られているヒンジ（蝶番）取り付け用カップの上下に小さな穴が2ヶ所開いています。この穴は、ヒンジの位置がずれないように位置を決めるための穴です。ヒンジはカップに収めた後、ふたを閉じると、中で部品が開き抜けなくなります。ビスで留める必要はありません。

・横型ウォールキャビネットに付属するアームを調整する場合

- 開閉時に扉を任意の位置で止めるためには、組み立て説明書に記載の通りにバネの強さを調整する必要があります。出荷時は一番緩い状態のため、扉を上で止まるようにするためには数十回まわす必要がありますので、様子を見ながらまわしてください。

・AVSIKT/アーヴシクト ロールフロントを使用する場合

- レールで固定する場合、同梱のレール取り付けビスでは取り付けができませんので、M6×35mmのボルトを別途ご用意ください。

・カバーパネルを幅15cmのキャビネットに取り付ける場合

- 幅15cmのキャビネットの場合、カバーパネルをあらかじめ側板に取り付けてからキャビネットを組み立てるとスムーズです。

INTEGRALスライドレール組み立てについて

□ KALSBO・ULRIKSDAL扉の場合

組立説明書は、『RUBRIK』と表示して**あるもの**をご参照ください。

取り付けビスは、パーツNo.120766（長さ9mm）ではなくパーツNo.108904（長さ16mm）を使用して下さい。

□ RUBRIK ステンレス扉の場合

組立説明書は、『RUBRIK』と表示が**ないもの**をご参照ください。

小口にステンレスの巻き込みがある辺を下部になるように設置してください。

パーツNo.120382・120381は巻き込み部分にかかりますが、そのまま設置をしてください。

ワークトップ・シンク・水栓について

・排水管を高圧洗浄する場合

- PRÄGEL/プレーゲル、NUMERÄR/ヌメレール ワークトップで使われるATLANT/アトラント 排水トラップは高圧洗浄に対応していません。国内の代用品もありませんので、集合住宅の場合は高圧洗浄の有無を管理組合などに必ずご確認ください。
- 人工大理石、ステンレスワークトップで使われるPERSONLIG/ペルソンリグ 排水トラップは、高圧洗浄をする場合、蛇腹ホース部を直管に変える必要があります。直管部はイケアでは取り扱っていませんので、工務店等にご相談ください。
- BOHOLMEN/ボーホルメン（002.021.21）と排水トラップ310Gシンク用（601.523.83）を組み合わせ現場にて直管接続をおこなう場合は給排水立ち上げ位置図は310Gシンク用（P.16）をご参照ください。

・水栓をシンクに取り付ける場合

- PRÄGEL/プレーゲル、NUMERÄR/ヌメレール ワークトップを使ってIKEAシンクにTOTO水栓を取り付ける場合、シンク裏の裏貼り補強が必要になります。12mm程度の合板またはパーティクルボードを両面テープで貼って取り付けください。
IKEA水栓を取り付ける場合は、付属の三角プレートを使用してください。シンクの種類によっては一部カットの必要があります。

・水栓をワークトップに取り付ける場合

- イケアでご紹介しているTOTO水栓は、対応ワークトップの厚みが28mmまたは30mmで設定されています。ワークトップに直に水栓を取り付ける場合は、ワークトップ裏面からノミやドリル刃等に対応の厚さに削る必要があります。（水栓の取り扱い説明書を必ずご確認ください）
IKEA水栓を取り付ける場合は、付属の三角プレートを使用してください。

・幅120cm、60cm、40cmのキャビネットにシンクを取り付ける場合

- 幅120cm、60cm、40cmのキャビネットにシンクを取り付ける場合は、キャビネット上面のパーツを一部カットする必要があります。

NUMERÄR /ヌメレール ワークトップについて

・両面メラミンラミネート加工のNUMERÄR /ヌメレール ワークトップについて

□ 両面メラミンのNUMERÄR/ヌメレール ワークトップ（ホワイト/アルミ調グレー、アルミ調フロントエッジ）の光沢感のあるアルミ調の化粧張りが施されています。このワークトップをカットしてご使用になる場合、エッジ部分には、切り口に製品に付属の小口テープを張ることになりますが、この小口テープはワークトップの片面のグレーのメラミンシートと同じ素材です。そのため、既成のエッジ部分（フロントエッジ）と小口テープを張ったエッジ部分（サイドエッジ）では、質感や色味が異なります。あらかじめご了承ください。両面メラミンのNUMERÄR/ヌメレール ワークトップ（ホワイト/アルミ調ダークグレー、木目調フロントエッジ）に付属している小口テープは、既成のエッジの素材と同じものです。

・無垢材のNUMERÄR /ヌメレール ワークトップを利用する場合

□ NUMERÄR /ヌメレール ワークトップはビーチ無垢材またはオーク無垢材を使った集成材なので、色や木目が一点一点異なります。天然素材の特性上、使用方法や使用環境によっては、反り、ひび割れ、カビ等が生じることがあります。下記の方法に従って、施工とお手入れを行ってください。施工時ワークトップを設置する準備ができるまではビニール包装は、はがさないでください。

・施工時

ワークトップを設置する準備ができるまではビニール包装をはがさないでください。

未開封のワークトップは、通常の温度（約20℃）・湿度で保管してください。

ワークトップを暖房のそばや冷たい床の上に置かないでください。

ワークトップを壁に立てかけて保管しないでください。

・イケアのBEHANDLA/ベハンドラ 木製品用トリートメントオイル 屋内用を使う場合

設置する準備ができ、寸法カット、穴開け等が完了した状態で、

1. BEHANDLA/ベハンドラ 木製品用トリートメントオイル 屋内用を表裏両面およびカット面に塗布してください。そのまま15-20分おいてください。
2. オイルが表面にしっかりと染み込んだ後、乾いた状態でサンドペーパーで表面を木目に沿って磨き、磨き粉を拭き取ってください。
3. 1と2の作業を3回程度繰り返した後、設置してください。

・お手入れ

設置後、初めの1週間は1日おきに、2週間目からは2日おきにBEHANDLA/ベハンドラ 木製品用トリートメントオイル 屋内用を施し、オイルが浸透しきってそれ以上染み込まなくなるまで（約2-3カ月間）続けてください。その後は未永くワークトップの耐久性を保つために、年に3-5回オイルでお手入れしてください。シンクやコンロに接している面は乾きやすいため、もう少し頻繁にお手入れする必要があります。

注意：自然発火の危険を防ぐために、使用したブラシ、道具は水と石鹼で洗い、布は水につけてください。

上記のお手入れをしても、天然木の特性上、使用環境によっては反り・ひび割れが生じることがあります。ご了解のうえご購入ください。

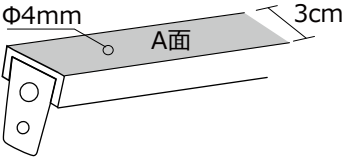
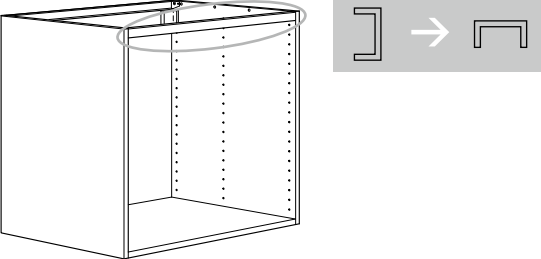
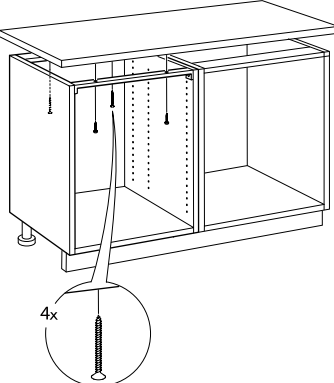
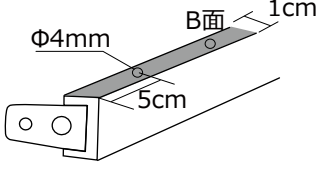
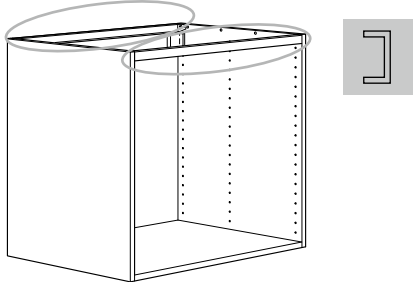
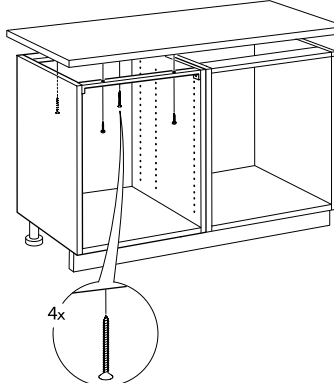
・他のオイル、仕上げ材を使う場合

1. 施工店、ホームセンター等に用途をご説明いただき、亜麻仁油などをベースにした自然塗料の木製品用トリートメントオイル（屋内用）、もしくはニスなどの仕上げ材をお求めください。
2. 使用に際しては、商品の取り扱い説明書を必ずご確認ください。

幅80cmのFAKTUM/ファクトウム ベースキャビネット を取り付ける際の注意点

幅80cmのFAKTUM/ファクトウム キャビネットの上面2カ所に取り付けるメタルバーにはカウンターへ固定するための穴が開いていませんので、現場での加工が必要となります。

下記施工手順を参考に加工してください。

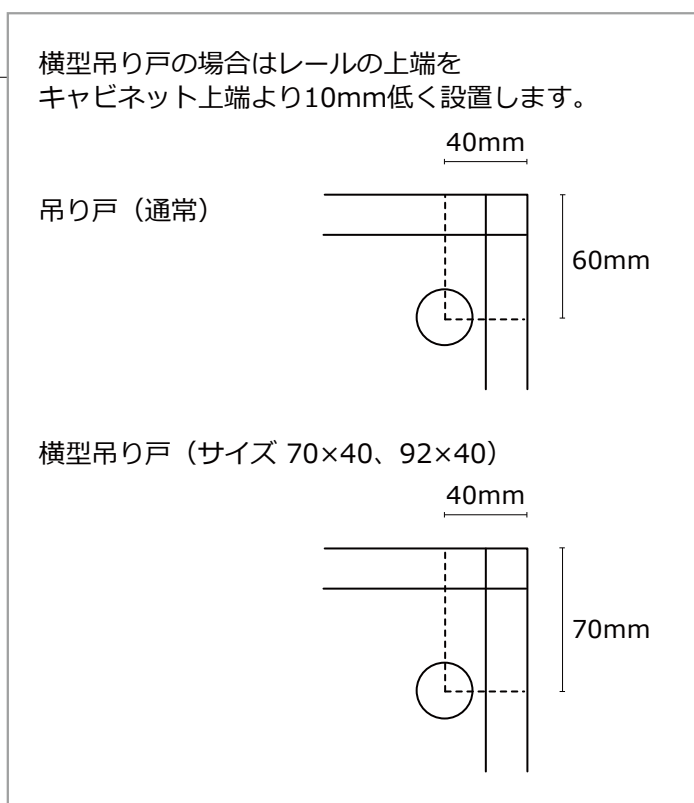
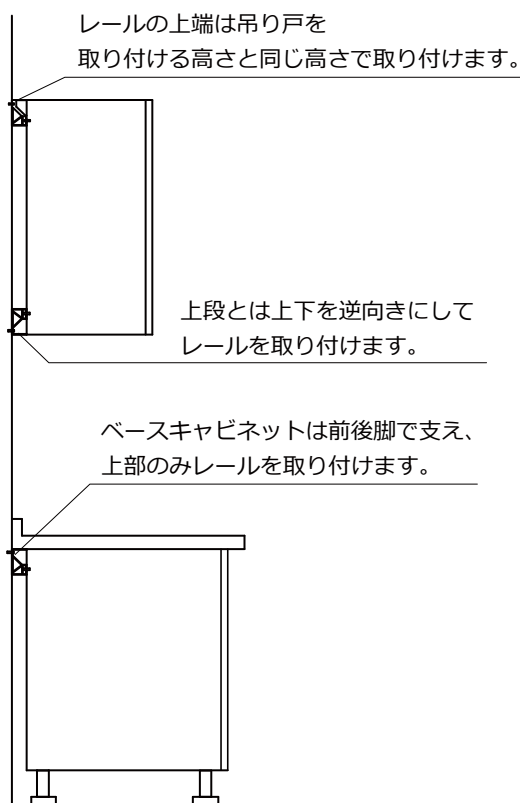
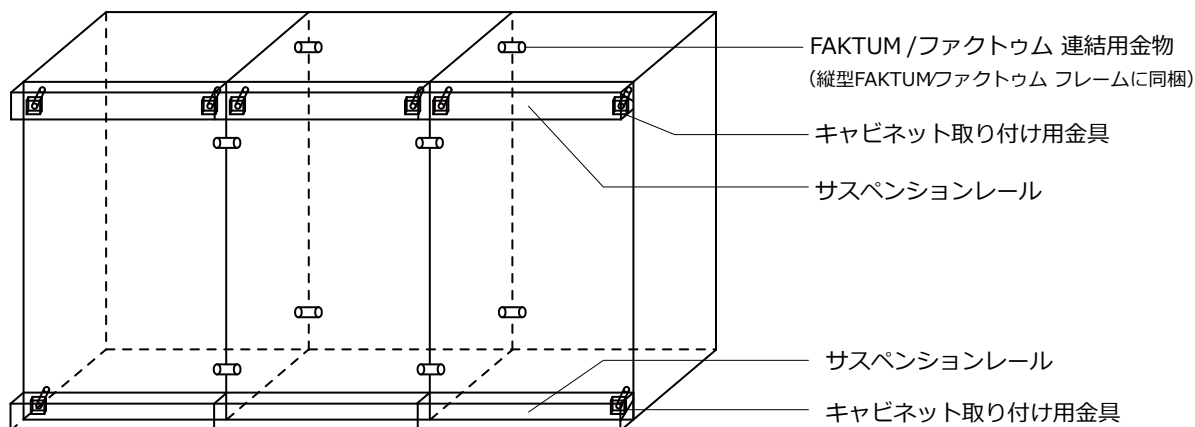
<h2>1段目に引き出し（高さ13cm）を 取り付ける場合</h2> <p>※ステンレスカウンターで総裏張りがない場合も同様です。</p>	<h2>それ以外の場合</h2>
<p>別途ご用意していただくもの</p> <p>A. カウンター取り付け用ネジ Φ3mm×20mm位 1キャビネットにつき4本</p> <p>B. メタルバー取り付け用ネジ Φ3.5mm×15mm位 1キャビネットにつき4本</p>	<p>別途ご用意していただくもの</p> <p>A. カウンター取り付け用ネジΦ3mm×20mm位 1キャビネットにつき4本</p>
<p>1. メタルバー A面（幅3cm）に カウンター固定用穴Φ4mmを2カ所開けます。</p>  <p>2. 手前のメタルバーのみ90度回転し、A面を上にして ダボ穴を使わずキャビネットの角にくるようにネジB で取り付けます。後方は「それ以外の場合」と同じ 取り付け方法になります。</p>  <p>3. 1.で開けた穴を利用し、 ネジAでキャビネットにカウンターを固定します。</p> 	<p>1. メタルバー B面（幅1cm）に カウンター固定用穴Φ4mmを2カ所開けます。</p>  <p>2. キャビネットにB面を上にして メタルバーを取り付けます。</p>  <p>3. 1.で開けた穴を利用し、 ネジAでキャビネットにカウンターを固定します。 シンクを取り付ける場合は、ドライバー先を 長いものにかえてビス止めを行ってください。</p> 

サスペンションレールを使用したFAKTUM/ファクトウムキャビネットの壁への取り付け方法

ウォールキャビネット・ハイキャビネットには上下2本、ベースキャビネット上部に1本、計3本使用します。幅1989mm以上の場合は、横に継いで延長します。レールを壁に固定するネジは梱包されておりません。壁の下地状況に合わせてお客さま（施工店）にてご用意ください。

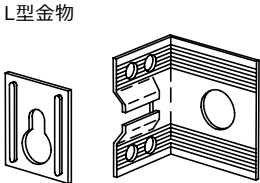
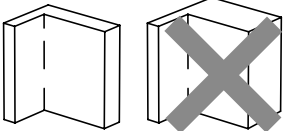
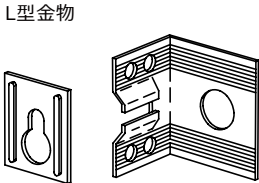
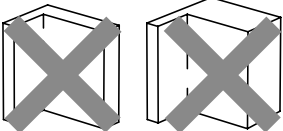
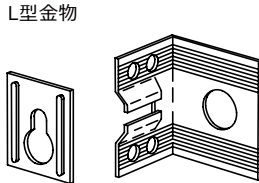
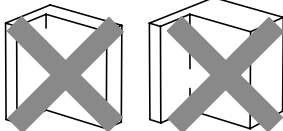
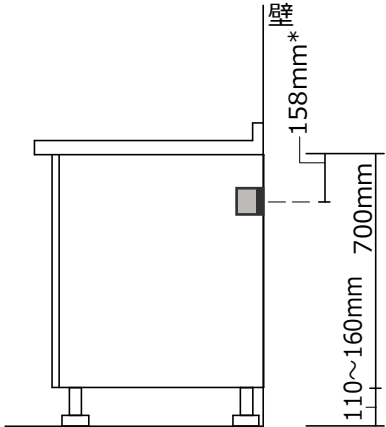
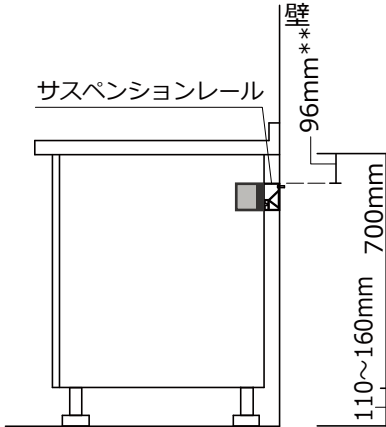
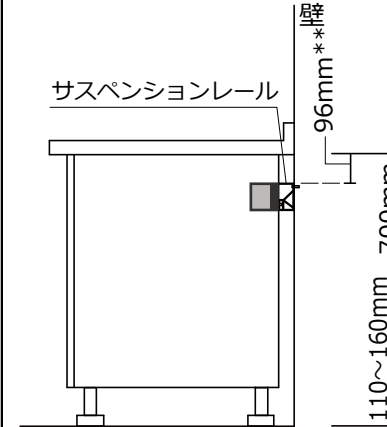
ウォールキャビネット（3個の例）

- 上段は各キャビネット2カ所ずつ、キャビネットに開いた穴位置に取り付けてください。
下段は原則、連結したキャビネットの両隅2カ所を固定してください。
- 下段用にはキャビネットには穴が開いていないので、はじめに穴開け工事が必要です。
取り付け金具は、各FAKTUM/ファクトウム キャビネットフレームに2個ずつ同梱されています。
ウォールキャビネットを取り付ける場合、下段の両隅固定用の金具をご購入ください。
- 横型ウォールキャビネットフレームにはFAKTUM/ファクトウム 連結用金物は同梱されておりません。
各キャビネットの両隅を固定してください。



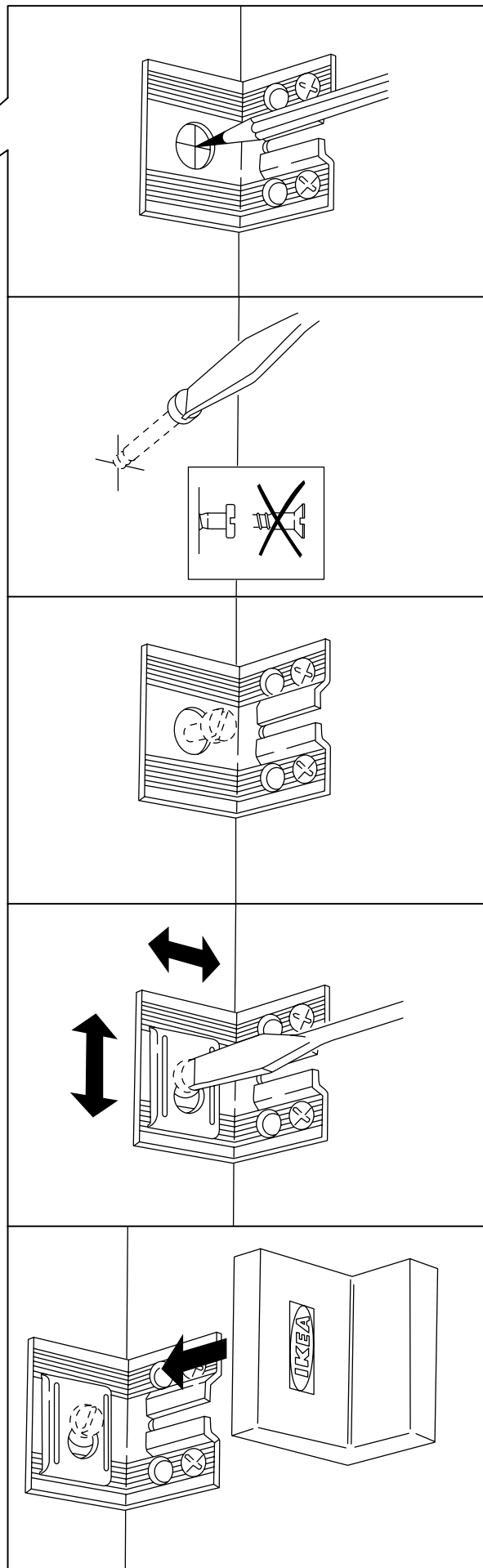
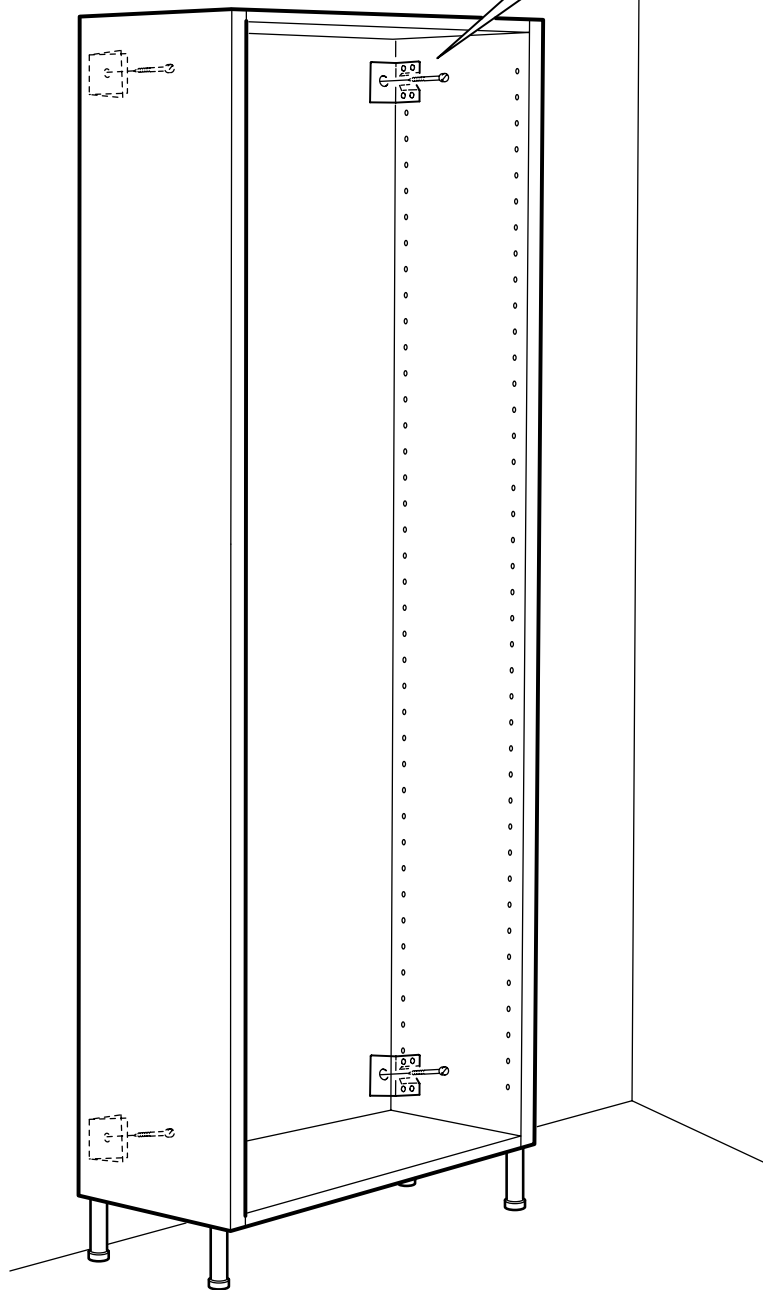
奥行き37cmのFAKTUM/ファクトウム キャビネット 引き出し取り付けの場合の壁固定の方法

壁固定用のネジは梱包されておりません。壁の下地状況に合わせてお客さま（施工店）にてご用意ください。

サスペンションレールを 使用しない場合	サスペンションレールを使用する場合	
	1段、3段引き出し (FA142~144、147~149)	5段引き出し (FA145、146)
<p>特にお渡しするものではありません。</p> <p>L型金物取り付け位置は上から4、5番目の穴位置になります。</p> <p>引き出しレールと干渉するため、同梱の白いプラスチックカバーのうち、薄型カバーを取り付けてください。</p> <p>※梱包には厚型と薄型の2種類が入っています。</p> <p>L型金物</p>  <p>プラスチックカバー</p>  <p>薄型 厚型</p>	<p>特にお渡しするものではありません。</p> <p>L型金物取り付け位置は上から4、5番目の穴位置になります。</p> <p>サスペンションレール取り付け位置は通常より96mm下がった位置です。</p> <p>キャビネット背板に穴開け加工が必要です。</p> <p>同梱の白いプラスチックカバー（厚型、薄型ともに）は取り付けできません。</p> <p>L型金物</p>  <p>プラスチックカバー</p>  <p>薄型 厚型</p>	<p>別途M6×20mmボルトと薄型ナットを各2セットご用意ください。</p> <p>L型金物取り付け位置は上から4、5番目の穴位置になります。</p> <p>サスペンションレール取り付け位置は通常より96mm下がった位置です。</p> <p>キャビネット背板に穴開け加工が必要です。</p> <p>同梱の白いプラスチックカバー（厚型、薄型ともに）は取り付けできません。</p> <p>L型金物</p>  <p>プラスチックカバー</p>  <p>薄型 厚型</p>
<p>L型金物取り付け位置</p>  <p>壁 158mm*</p> <p>700mm</p> <p>110~160mm</p> <p>床</p> <p>* L型金物の壁固定用ネジ取り付け位置</p>	<p>L型金物取り付け位置</p>  <p>壁 96mm**</p> <p>700mm</p> <p>110~160mm</p> <p>床</p> <p>** サスペンションレールの上端位置</p>	<p>L型金物取り付け位置</p>  <p>壁 96mm**</p> <p>700mm</p> <p>110~160mm</p> <p>床</p> <p>** サスペンションレールの上端位置</p>

サスペンションレールを使わずに FAKTUM/ファクトウム キャビネットを 壁へ取り付ける方法

(壁の下地が12mm以上の合板等どこでもビスが
効く場合に限ります。)



*こちらの絵では、ハイキャビネットを使用しておりますが、
取り付け方法は全てのキャビネットに共通です。

FAKTUM/ファクトウム キャビネットの背面に カバーパネルを取り付ける際の注意点

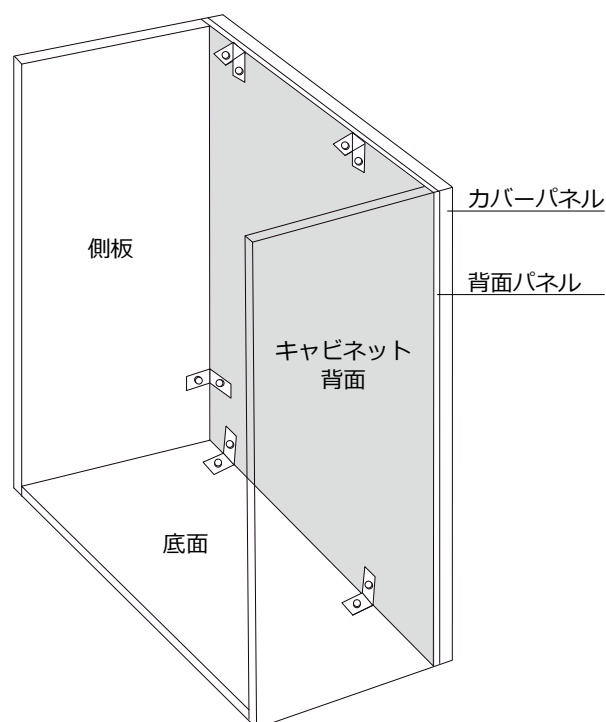
FAKTUM/ファクトウム キャビネットの背板は薄ベニヤのため、カバーパネルに付属しているネジでは長すぎて突き抜けてしまいます。また、薄ベニヤへ直接のネジ止めでは強度が不足するため、L金具を併用し、下記施工手順を参考に取り付けてください。

別途用意していただくもの

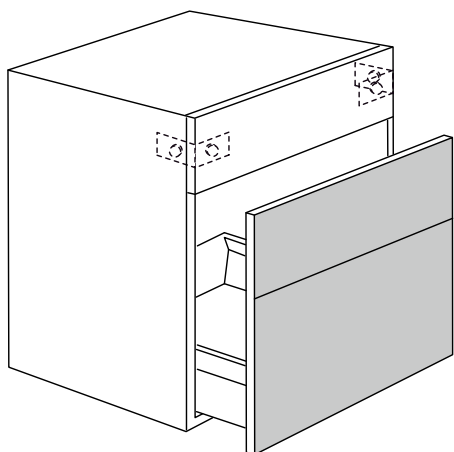
- L金具（長さ30×30mm位のもの） パネル1枚につき4個
- 長いネジ（ $\varnothing 3.5 \times 15$ mm位） L金具キャビネット固定用 パネル1枚につき4本
- 短いネジ（ $\varnothing 3.5 \times 12$ mm位） カバーパネル固定用 パネル1枚につき4本

施工手順

- 1 カバーパネルをFAKTUM/ファクトウム キャビネット背面に両面テープ等で仮固定します。
- 2 L金具を、長いネジを使用してキャビネットの内側から側板・上面・底面いずれかに取り付けます。
（パネル1枚につき4カ所）
- 3 カバーパネルを、短いネジを使用して固定します。
* いずれも下穴は開いておりません。



高さ13cmの扉材を使ってシンクやフィッシュグリップ なしコンロにフィラー処理する際の注意点



別途用意していただくもの

- L金具（長さ30×30mm位のもの） フィラー1枚につき2個
- ネジ（ $\varnothing 3.5 \times 15$ mm） フィラー1枚につき4本

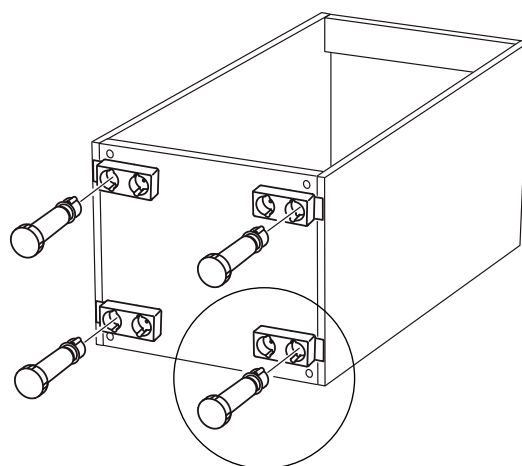
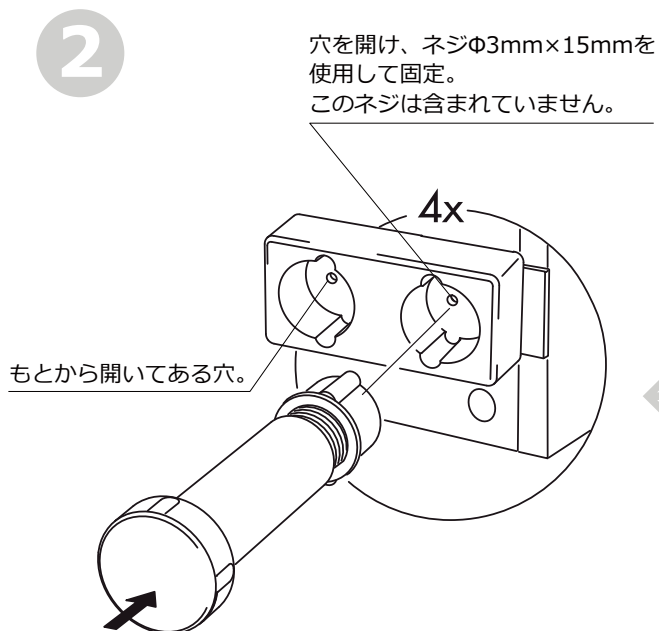
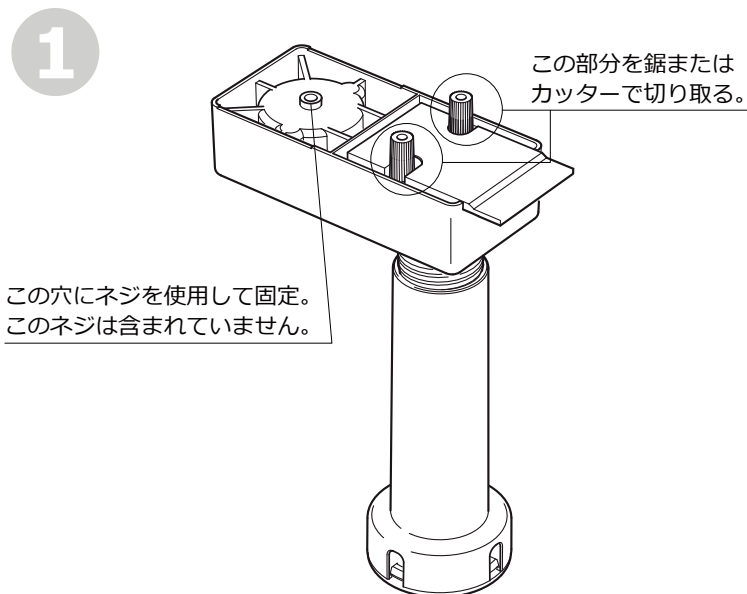
施工手順

- 1 L金具を、ネジを使用してキャビネットの内側から側板・扉に取り付けます。
※いずれも下穴は開いておりません。

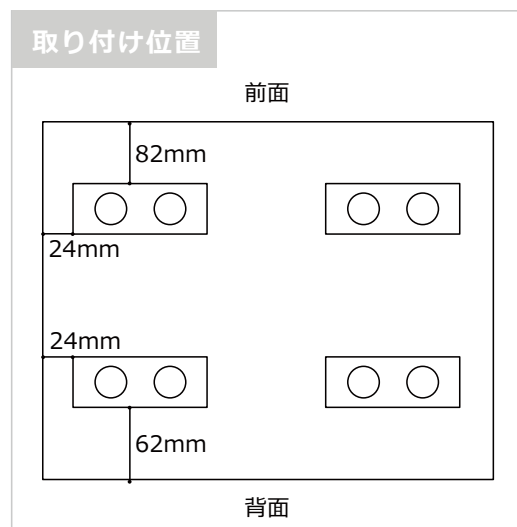
※下部の引き出しはお客様のプランによって異なります。

奥行き37cmのFAKTUM/ファクトウム キャビネット への脚取り付け方法

CAPITA/カピタ 脚 (201.755.03/001.755.04) またはUTBY/ウトビー 脚 (701.289.72/201.755.41) の使用をおすすめします。FAKTUM/ファクトウム 脚 (301.003.81/401.755.40) を使用する場合は下記寸法をご参照ください。



右図に記載された脚の取り付け位置は、
奥行き37cmのキャビネットの場合です。
奥行き60cmのキャビネットに連結して使う場合は、
脚の取り付け位置は変わります。



3段と5段の引き出しに、引き出し前部（前板）を取り付ける際の注意点

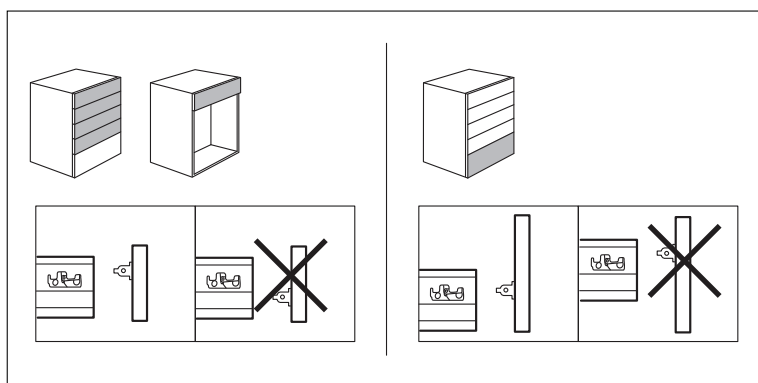
一番上の引き出しに引き出し前部（前板）を取り付ける時には、引き出し前部（前板）の上下を間違えないようご注意ください（下図参照）。

上下を間違えると、引き出し前部（前板）同士がぶつかって、引き出しが閉まらなくなります。

引き出し前部（前板）を正しく取り付けると、引き出し前部（前板）の下端が、引き出し本体の下端より2cmほど下にきます。

5段の引き出しの場合、一番下の段の引き出し前部（前板）の取り付け位置が、上の4段と異なりますので、特に注意が必要です。

取っての取り付けは、引き出し前部（前板）の取り付けのあとに行うことをおすすめします。



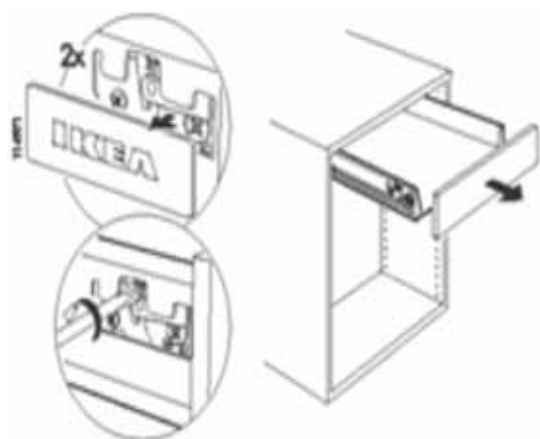
ポイント！

引き出し前部（前板）の下端は引き出し本体の下端より2cmほど下にきていますか？



引き出し前部（前板）の取り外し方法

1. 引き出し両サイドのグレーのプラスチックカバーを外してください。
2. カバーを外した部分に穴が4つ現れます。中央上部の穴にプラスドライバーを差し込み、引き出しの奥の方向に回してください。
3. 引き出し前部（前板）がゆるんだら外してください。

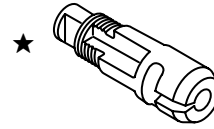


ヒンジ穴のある引き出し扉を 引き出し扉として使う場合の取り付け方法

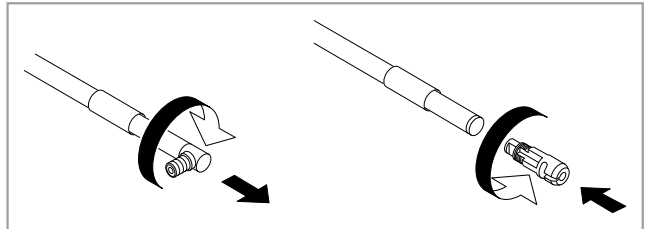
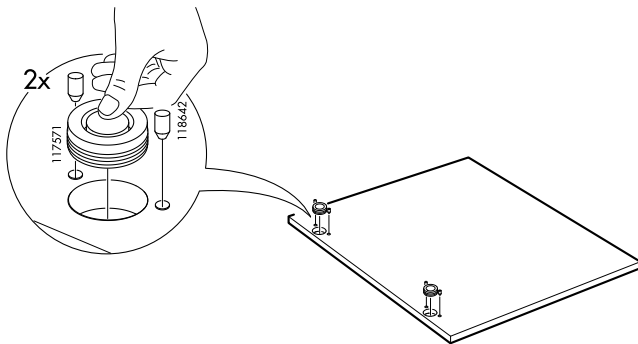
※通常こちらは引き出し扉として利用するため、スライドで使用する際には次の作業が必要となりますので、ご注意ください。

※RATIONEL /ラショナル 深型引出し前部40もしくは、RATIONEL /ラショナル 深型引出し前部60の場合、以下の部材を取り出してお使いください。

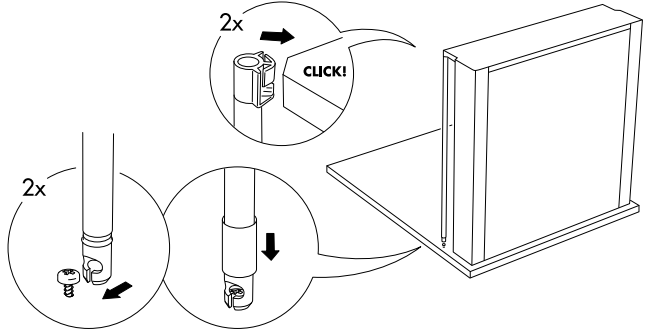
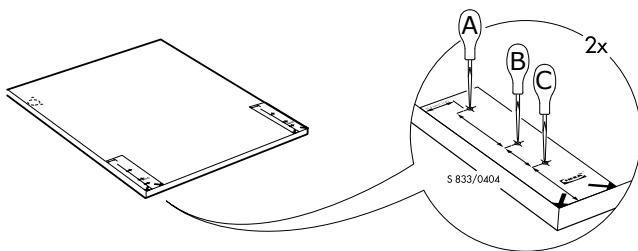
紙のテンプレート、117571、118642、108530、



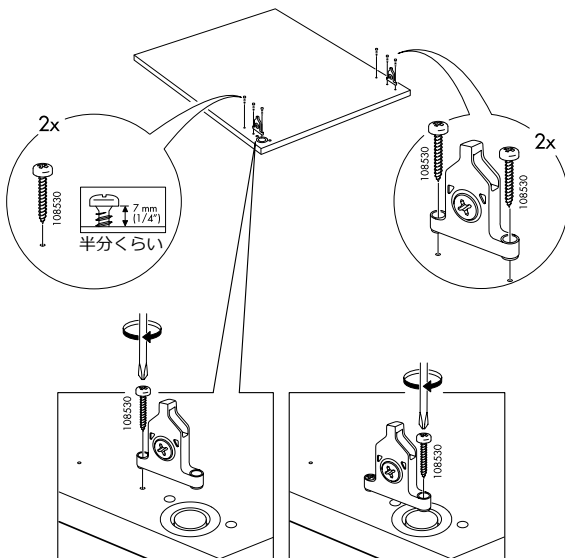
- ① 扉のヒンジ穴に117571と118642を打ち込む。 ④ ポールの金具を★の金具に付け替える。



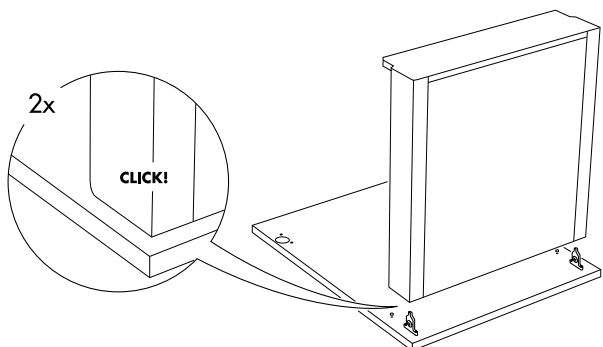
- ② 扉の裏側に紙テンプレートを当て穴位置を出す。 ⑤ ④のポールを③のAに差し込む。



- ③ Aに108530のネジを半分ねじ込む。
BCには108530で金具を固定する。



- ⑥ ⑤のポールを引き出し本体に差し込み
回して長さを調節する。



給水/給湯 排水管床立ち上げ位置図

● 給湯 ○ 給水 ⊕ 排水 …………… シンクセンターライン

- 排水管はVUまたはVP管（φ50）となります。（床から200mm立ち上げてください）
- 排水管立ち上げ位置にはRATIONELL/ラショネル シリーズのゴミ箱収納などを設置できません。
- 図は奥行き寸法が650mm・660mm・664mmの場合です。カウンター奥行き寸法が異なる場合は、シンク位置をご確認のうえ算出してください。
- () 内は奥行き65cmのPRÄGEL/NUMERÄR ワークトップの場合。

給水/給湯 床立ち上げの場合

止水プラグ止めの場合FL+250mm
 ストレート形止水栓を取り付ける場合は
 キッチンH850mm → FL+480mm
 キッチンH900mm → FL+530mm

給水/給湯 壁出しの場合

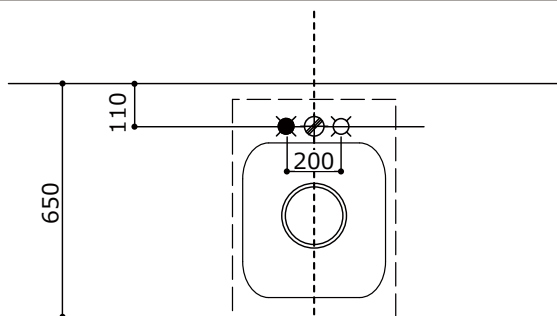
壁出し位置

キッチンH850mm → FL+550mm
 キッチンH900mm → FL+600mm

壁から60mm以上のばして止水プラグを取り付けてください。

*ハンドシャワー水栓を選択した場合は、止水栓のハンドルが無いタイプを選ぶ又は、止水栓のハンドルの向きに注意し止水栓とシャワーホースが干渉しないよう設置してください。

310G シンク (401.447.18/801.535.03) W312mm×D400mm

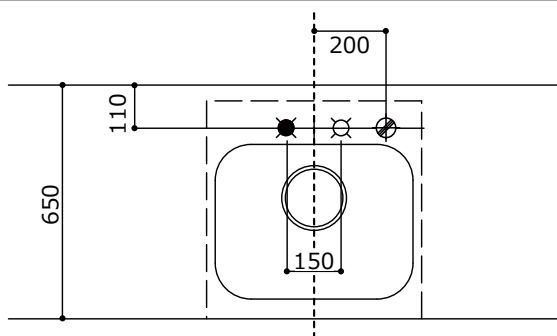


40cm幅のFAKTUM/ファクトゥム ベースキャビネットに310Gシンクを組み合わせる場合は、縦位置となります。キャビネット上面のパーツの欠き込みも必要です。

AD シンク (701.114.72/601.535.04) W550mm×D430mm

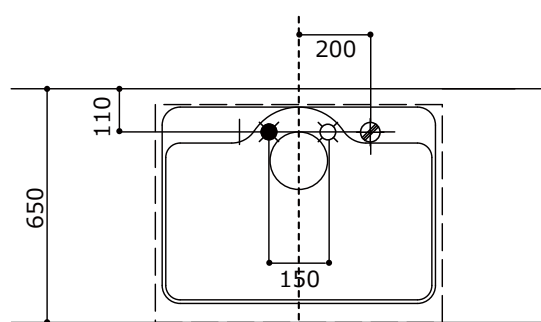
310G シンク (401.447.18/801.535.03) W312mm×D400mm

* 幅、奥行き方向が逆でも設置できます。



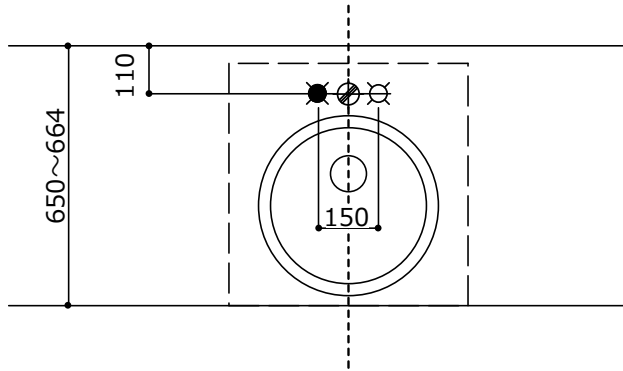
IB-K シンク (201.447.19/301.535.05) W744mm×D500mm

FCJ-K シンク (301.114.74) W950mm×D495mm

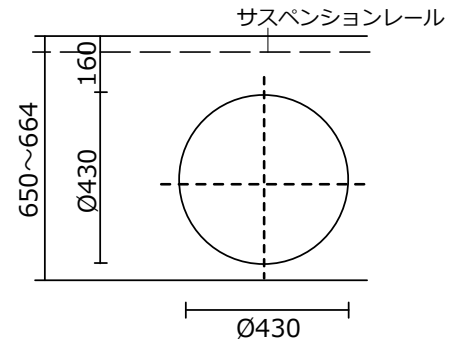


水栓は原則、シンク取り付けとなります。ご確認ください。

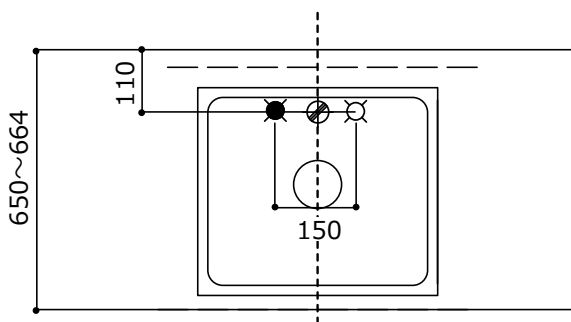
BOHOLMEN/ボーホルメン (502.134.81)
 シングルボウルはめ込み式シンク Ø450mm



PRÄGEL/プレーゲル
 NUMERÄR/ヌメレール シンク穴開け位置

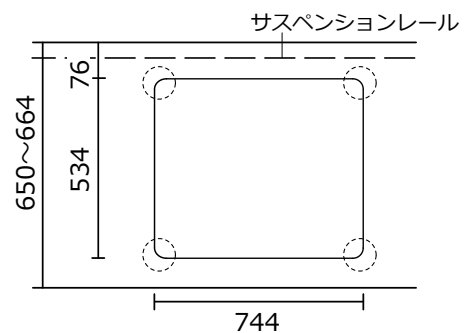


BOHOLMEN/ボーホルメン (002.021.21)
 シングルボウルはめ込み式シンク W760mm×D550mm



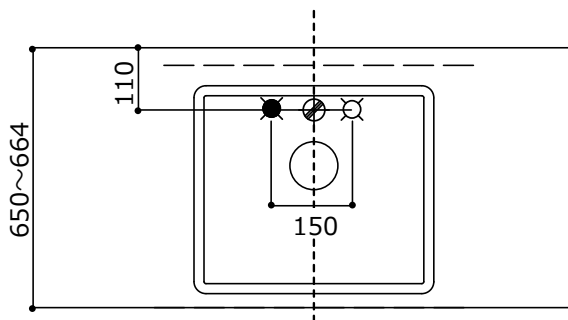
- * 水栓は原則シンク横への取り付けとなります。
- * 排水管高圧洗浄対応用に排水トラップ310Gシンク用 (601.523.83) を選択し、現場にて直管接続を行う場合は310Gシンク立ち上げ位置 (P.16) をご参照ください。

PRÄGEL/プレーゲル
 NUMERÄR/ヌメレール シンク穴開け位置

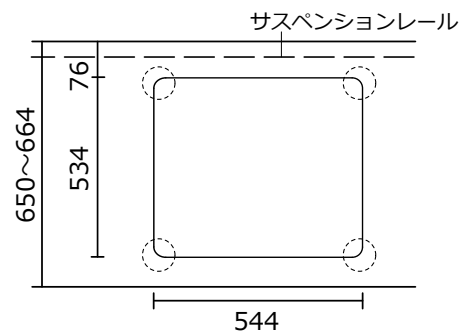


○シンクコーナーはR10で加工してください。

BOHOLMEN/ボーホルメン (402.021.19)
 シングルボウルはめ込み式シンク W560mm×D550mm



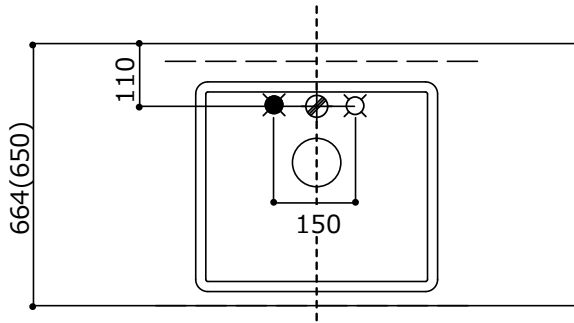
PRÄGEL/プレーゲル
 NUMERÄR/ヌメレール シンク穴開け位置



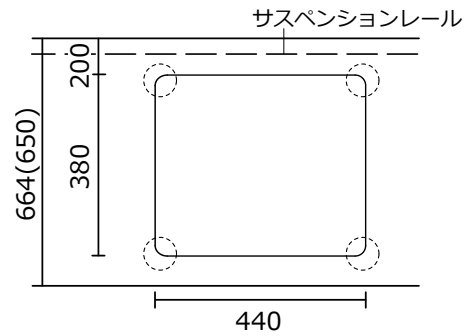
○シンクコーナーはR10で加工してください。

- * W600mmのキャビネットの場合
 キャビネット後方のバーを一部カットする必要があります。

FYNDIG/フィーンディグ (402.021.24)
 シングルボウルはめ込み式シンク W450mm×D390mm

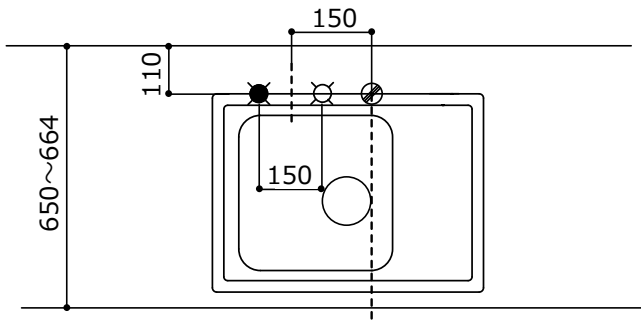


PRÄGEL/プレーゲル
 NUMERÄR/ヌメレール シンク穴開け位置



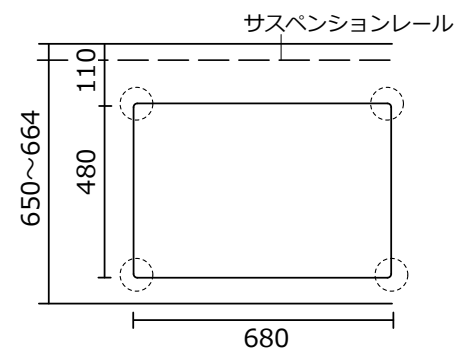
○ シンクコーナーはR105で加工してください。

FYNDIG/フィーンディグ (802.021.22)
 ボウルはめ込み式シンク (水切り付き) W700mm×D500mm



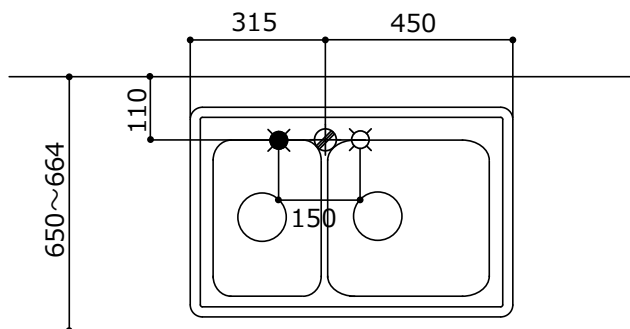
* 水切り部分設置位置を左右どちらでも選べます。
 水切りが左側の場合、給水/給湯排水管は左右対称の位置となります。

PRÄGEL/プレーゲル
 NUMERÄR/ヌメレール シンク穴開け位置



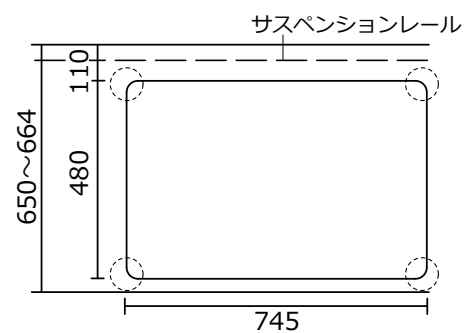
○ シンクコーナーはR27で加工してください。

BOHOLMEN/ボーホルメン (101.740.09)
 ダブルボウルはめ込み式シンク W765mm×D500mm



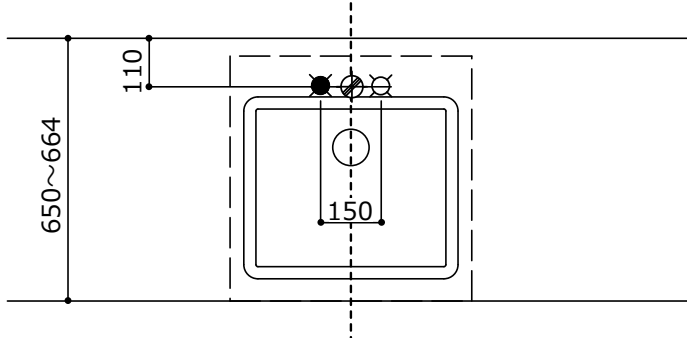
* この商品の立ち上げ位置はキャビネットのセンターを基準としません。
 左右を逆にしても設置できます。

PRÄGEL/プレーゲル
 NUMERÄR/ヌメレール シンク穴開け位置



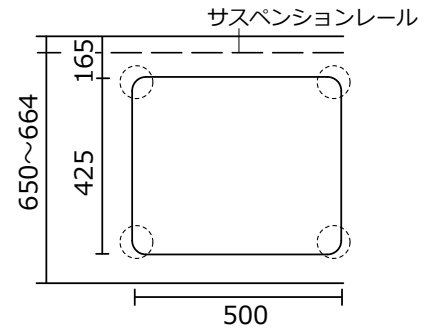
○ シンクコーナーはR10で加工してください。

DOMSJÖ/ドムショー (301.740.13)
シングルボウルはめ込み式シンク W530±8mm×D450±7mm



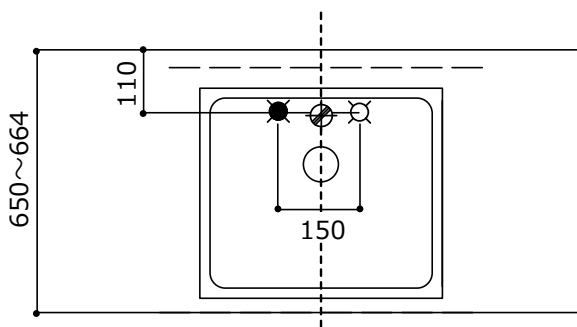
* カウンター切断面をコーキングしてください。(コーキング剤は別途手配)

PRÄGEL/プレーゲル
NUMERÄR/ヌメレール シンク穴開け位置

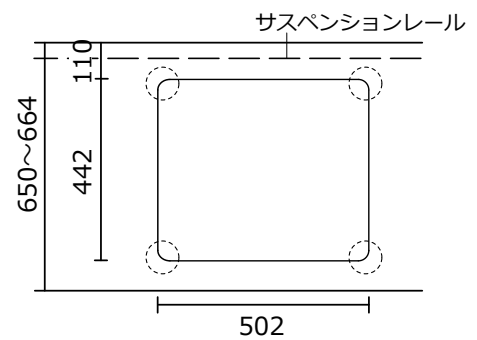


○ シンクコーナーはR30で加工してください。

BREDSKÄR/ブレードシェール (801.655.15)
シングルボウルはめ込み式シンク W518mm×D456mm

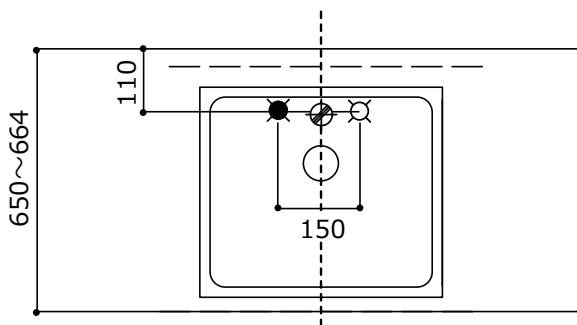


PRÄGEL/プレーゲル
NUMERÄR/ヌメレール シンク穴開け位置

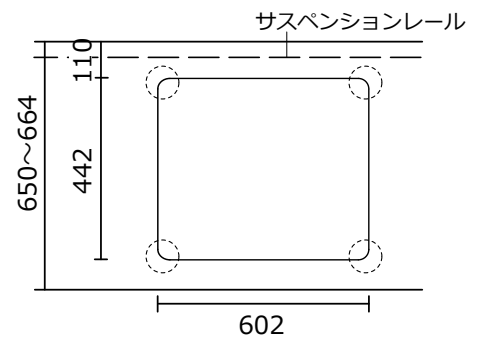


○ シンクコーナーはR20で加工してください。

BREDSKÄR/ブレードシェール (201.845.74)
シングルボウルはめ込み式シンク W616mm×D456mm



PRÄGEL/プレーゲル
NUMERÄR/ヌメレール シンク穴開け位置

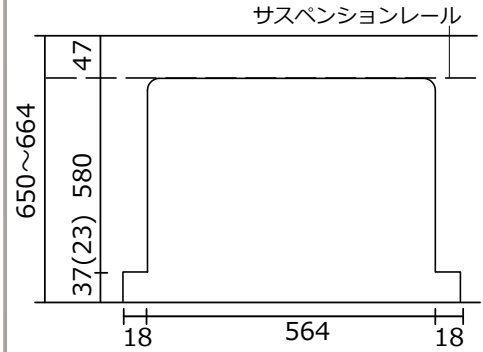
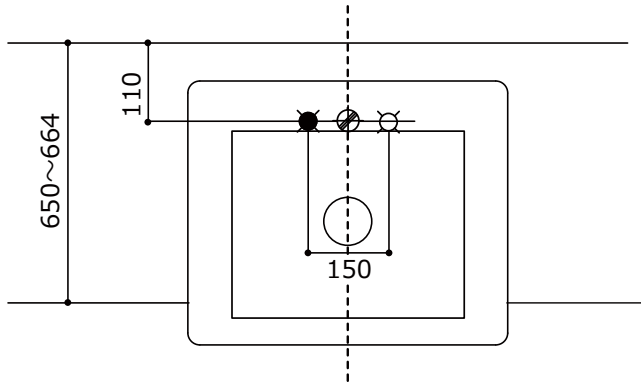


○ シンクコーナーはR20で加工してください。

DOMSJÖ/ドムショー
シンクボウル

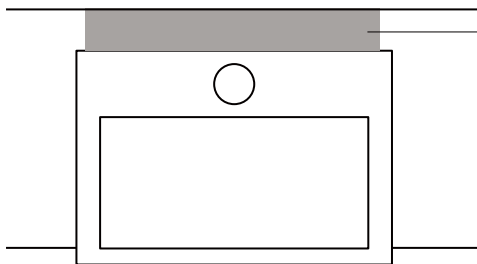
(101.740.14)
W624±3mm×D646±3mm

PRÄGEL/プレーゲル
NUMERÄR/ヌメレル シンク穴開け位置

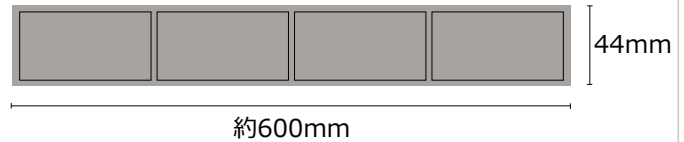


* DOMSJÖ/ドムショーシンク (101.740.14) の背面 (ワークトップからの陶器立ち上がり約14mm) は釉薬が施されていません。水が染みるのを防ぐためにシンク後ろ部分をコーキング、またはワークトップをタイル等で加工することをおすすめします。下記加工例の寸法をご参照ください。

シンク後ろ部分 スペース

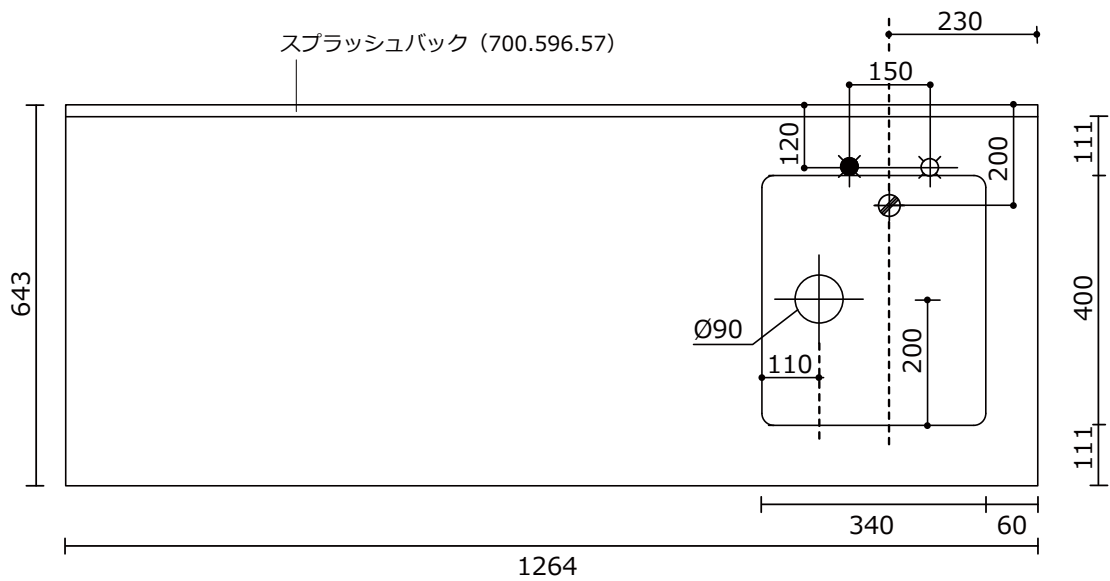


加工例 合板9mm厚+タイル5mm
サイズ 幅約600mm×奥行き44mm



UDDEN/ウッデン
シングルボウルシンク 脚付き

(701.764.87)



- * ステンレススチール製 (18-8ステンレス) 1mm厚
- * シンクはカウンターセンターを中心に左右対称にも設置できます。

ELDIG/エルディグ FRAMTID/フラムティドIHコンロ&MUMSIG/ムムスイグ オープン設置の注意点

1.IHコンロのみ（オープン無し）の場合

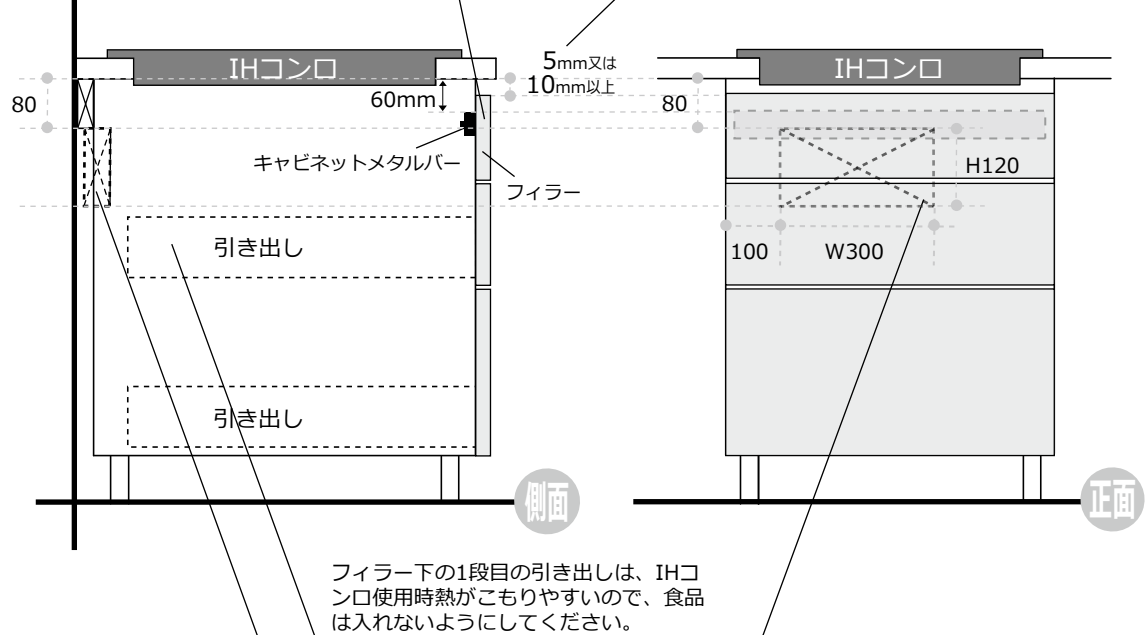
施工手順

- ① ベースキャビネットの背面を切り欠き（*1）、コンセントを躯体に取り付けてから、IHコンロを上からはめ込みます。
- ② ワークトップ下端から5mm（*2）以上の離隔距離を確保して、キャビネットメタルバーを使用して（*3）、H130mmのフィラーを取り付けてください。（IHコンロ下最上段には必ずフィラーを取り付けてください。引き出しを取り付けることはできません）
- ③ その下に引き出しを2段取り付けます。その際、引き出し前部の間の隙間をなるべくつめ、最下部扉の下端が左右の扉のラインにあうように調整してください。

取り付け位置

（*3）キャビネットメタルバーは両サイドの爪を折り、上から60mm下げ、平面が扉側に
向くように90度回転させ、L=12mmのビスでフィラー（扉材）を固定します。

（*2）ワークトップ下部からフィラー上端までの
離隔距離は、ワークトップD650mm（背面にサスペンションレールを取り付け、給気スペースを確保した場合）の場合のみ5mm以上。給気スペースを確保できない場合は10mm以上必要です。



（*1）給気・コンセント用に、キャビネットの背面パネルを、キャビネット上端から80mm（サスペンションレール下）、側面から100mmの位置に、H120×W300mmで切り欠いてください。（給気用なのでふた等でふさがらないでください）
コンセント（IHコンロ用）は開口口後方の躯体に取り付けてください。

*FRAMTID/フラムティドIHコンロを幅60cmのコンロ用キャビネットに設置する場合、キャビネット上面後方の木枠を一部カットする必要があります。

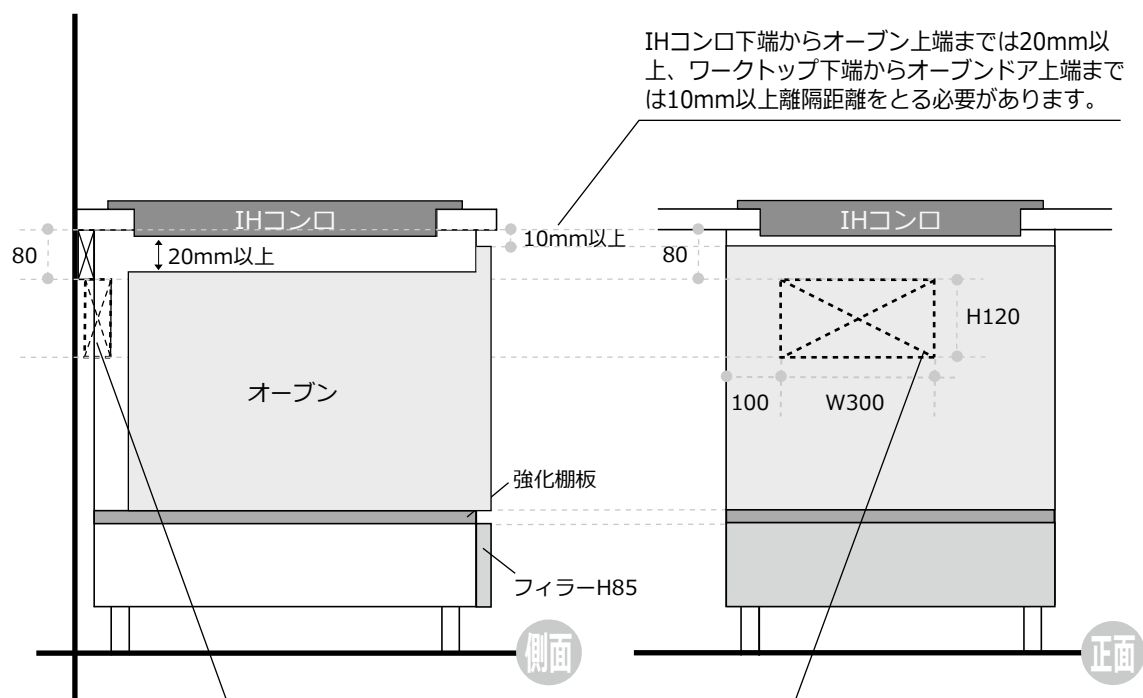
2. IHコンロ+MUMSIG/ムムスイグ OV5オーブン 設置の場合

施工手順

- 1 ベースキャビネットの背面を切り欠き（*1）、IHコンロ用・オーブン用コンセントを躯体に取り付けてから、IHコンロを上からはめ込みます。この組み合わせの場合は、ベースキャビネットに、手前側のキャビネットメタルバーは取り付けないでください（*2）
- 2 H130mm扉をフィラー用にH85mm（*3）にカットし、カット面を下にして、左右の扉のラインにあわせて、③の強化棚板の位置を確認しながらL金物等（現場手配）で取り付けます。
- 3 キャビネットの下から2番目の穴に、付属のL型のダボを使用して強化棚板を取り付け、その上にオーブンを設置します。ワークトップ下端からオーブンドア上端までの離隔距離が10mm以上あることを確認したうえで、固定します。

取り付け位置

- （*2）コンロ用キャビネットの両サイドにキャビネットがない場合、外側からL金物等で補強してください。
- （*3）フィラーの寸法は、左右の扉のラインにあわせて、現場で調整してください。オーブン下はドア開閉のため、8mm程度の空きが必要となります。



- （*1）給気・コンセント用に、キャビネットの背面パネルを、キャビネット上端から80mm（サスペンションレール下）、側面から100mmの位置に、H120×W300mmで切り欠いてください。（給気用なのでふた等でふさがらないでください）コンセント（IHコンロ用・オーブン用）は開口口後方の躯体に取り付けてください。

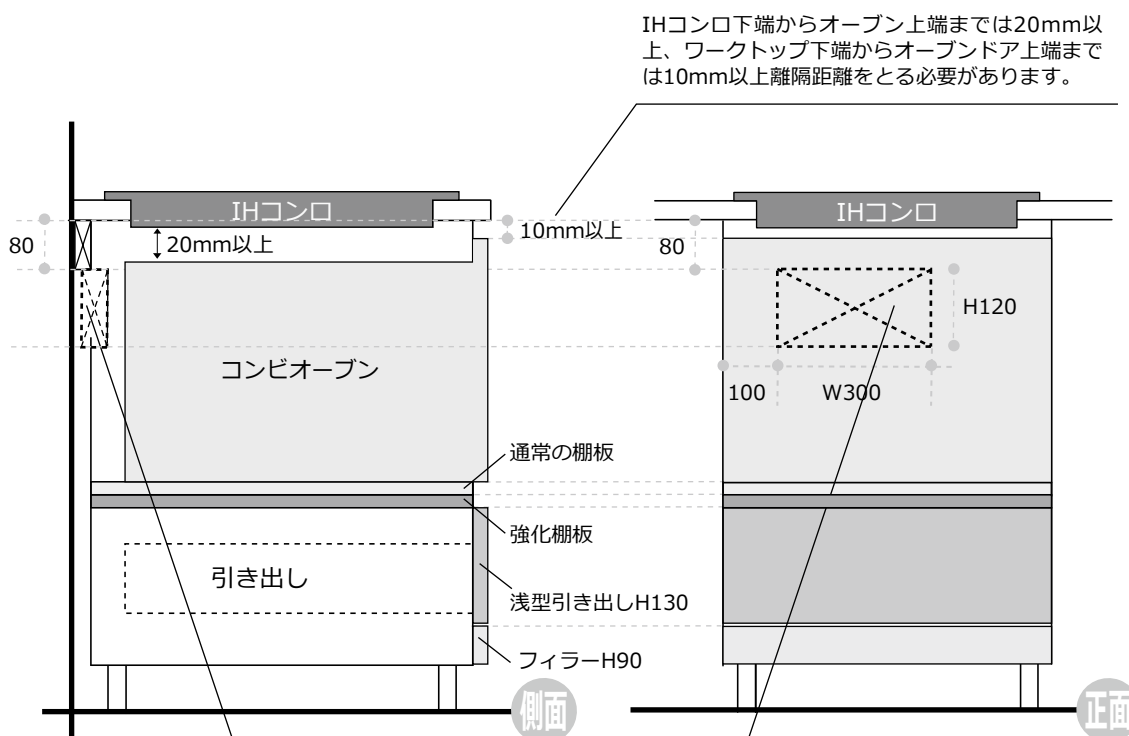
3.IHコンロ+MUMSIG/ムムスイグ C03コンビオープン設置の場合

施工手順

- 1 ベースキャビネットの背面を切り欠き（*1）、IHコンロ用・オープン用コンセントを躯体に取り付けてから、IHコンロを上からはめ込みます。この組み合わせの場合は、ベースキャビネットに、手前側のキャビネットメタルバーは取り付けないでください（*2）
- 2 キャビネットの下から4番目の穴に浅型引き出しを取り付けます。
- 3 H130mm扉をフィラー用にH90mm（*3）にカットし、引き出しの下に、カット面を下に向けて、左右の扉のラインにあわせてL金物等（現場手配）で取り付けます。
- 4 キャビネットの下から6番目の穴に、付属のフラットのダボを使用して強化棚板を取り付け、その上に普通の棚板を1枚重ねてからコンビオープンを設置します。ワークトップ下端からオープンドア上端までの離隔距離が10mm以上あることを確認したうえで、固定します。

取り付け位置

- （*2）コンロ用キャビネットの両サイドにキャビネットがない場合、外側からL金物等で補強してください。
 （*3）フィラーの寸法は、左右の扉のラインにあわせて、現場で調整してください。オープン下はドア開閉のため、8mm程度の空きが必要となります。



- （*1）給気・コンセント用に、キャビネットの背面パネルを、キャビネット上端から80mm（サスペンションレール下）、側面から100mmの位置に、H120×W300mmで切り欠いてください。（給気用なのでふた等でふさがらないでください）コンセント（IHコンロ用・オープン用）は開口口後方の躯体に取り付けてください。

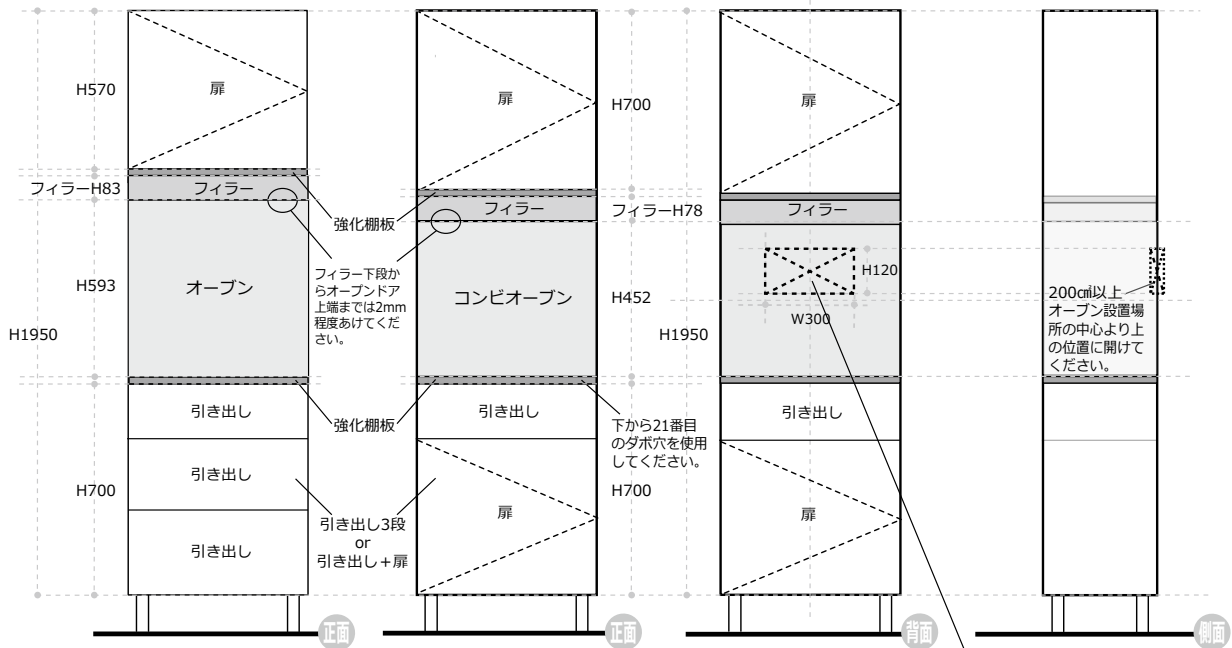
MUMSIG/ムムスイグ オープンをハイキャビネットに設置する場合の注意点

ハイキャビネットにオープンを設置する場合は、背面にサスペンションレールを取り付けて給気スペースを確保することをおすすめします（レールなしにする必要がある場合は施工店に相談してください）。給気用にサスペンションレールを切り欠く必要はありません。

1.H1950ハイキャビネット+オープン1台設置の場合

取り付け位置

※フィルターの寸法は左右の扉のラインにあわせて、現場で調整してください。
※フィルター取付用の金物は含まれておりません。現場にて手配してください。

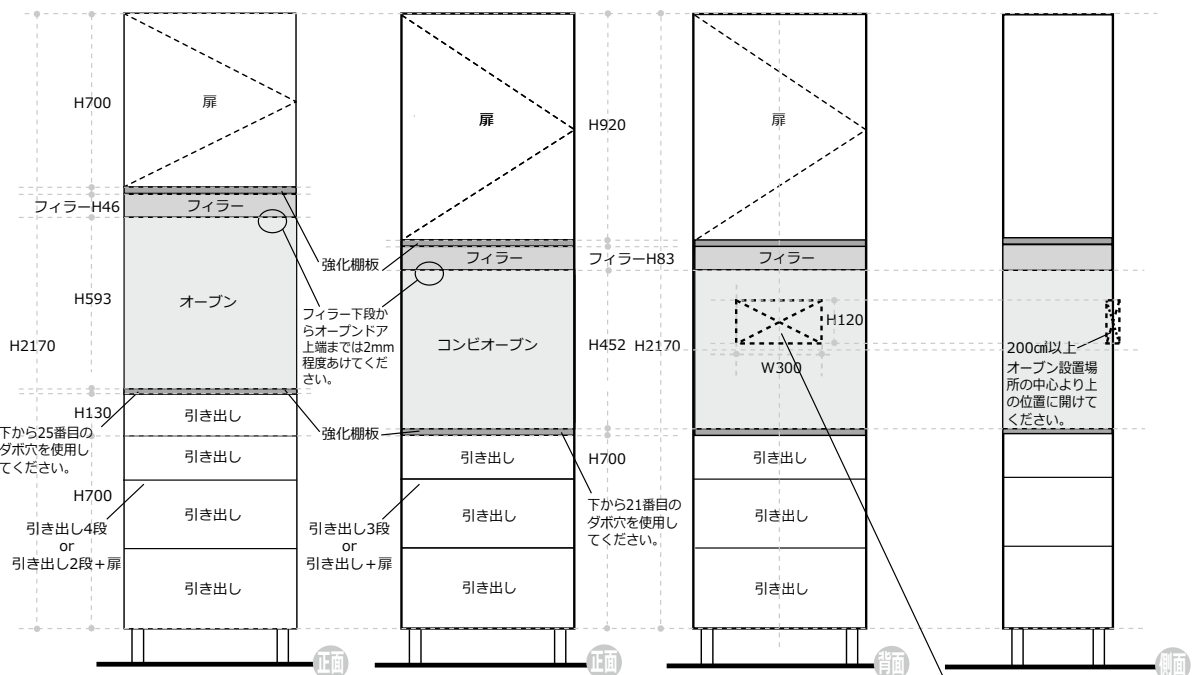


給気・コンセント用に、キャビネットの背面パネルを、H120×W300mmで切り欠いてください（右図参照）。給気用に最低200cm以上の開口が必要です。開口口はふた等でふさがらないでください。コンセント（オープン用）は開口口後方の躯体に取り付けてください。

2.H2170ハイキャビネット+オープン1台設置の場合

取り付け位置

※フィルターの寸法は左右の扉のラインにあわせて、現場で調整してください。
※フィルター取付用の金物は含まれておりません。現場にて手配してください。

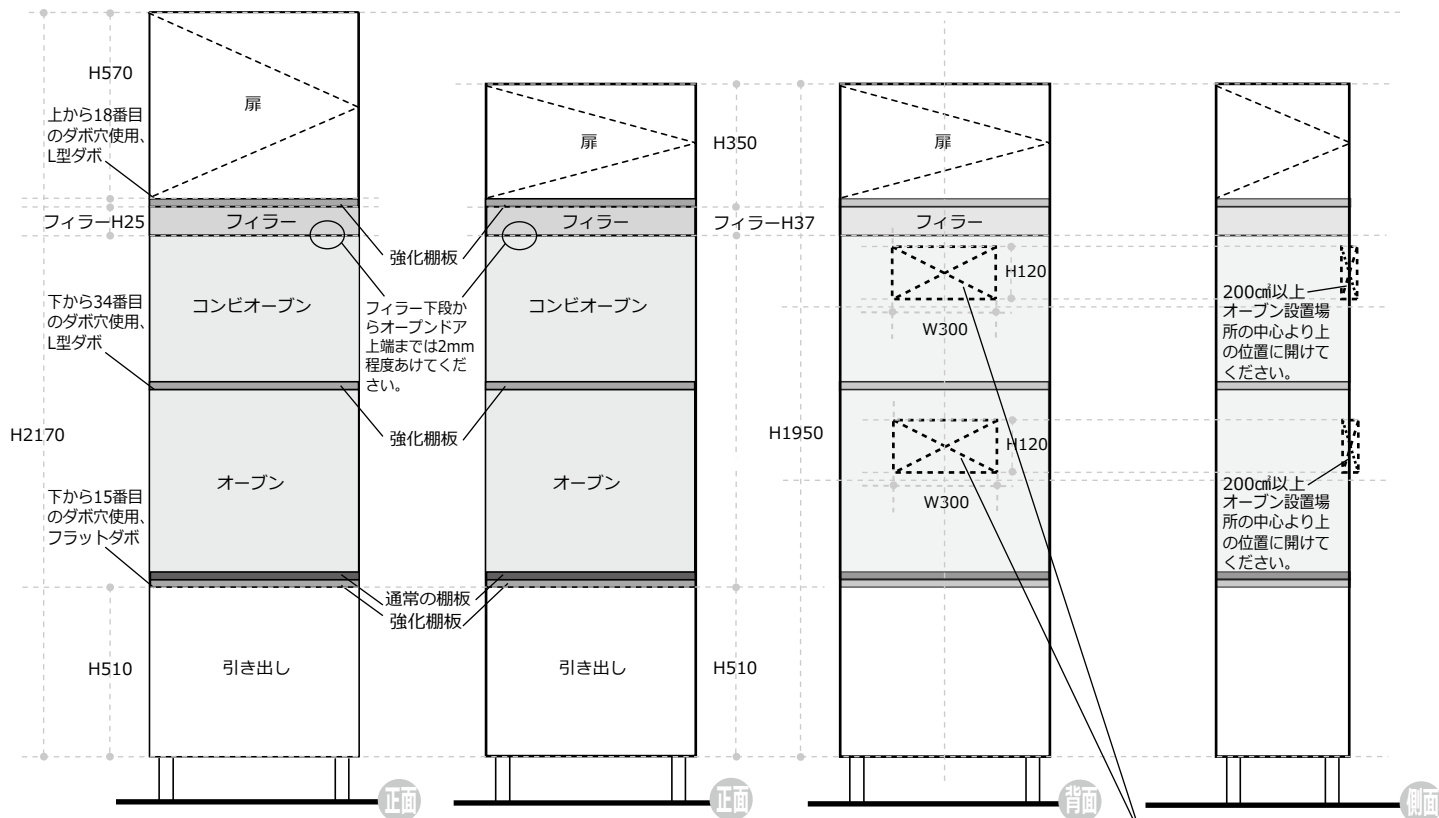


給気・コンセント用に、キャビネットの背面パネルを、H120×W300mmで切り欠いてください（右図参照）。給気用に最低200cm以上の開口が必要です。開口口はふた等でふさがらないでください。コンセント（オープン用）は開口口後方の躯体に取り付けてください。

3.H1950/2170ハイキャビネット+オープン2台設置 の場合

取り付け位置

※フィルターの寸法は左右の扉のラインにあわせて、現場で調整してください。
 ※フィルター取付用の金物は含まれておりません。現場にて手配してください。



給気・コンセント用に、キャビネットの背面パネルを、H120×W300mmで切り欠いてください(右図参照)。給気用に最低200cm以上の開口が必要です。開口口はふた等でふさがらないでください。コンセント(オープン用)は開口口後方の躯体に取り付けてください。オープン1つにつき1カ所ずつが必要です。

RENLIG/レーンリグ DW60食器洗い機設置の注意点

商品同梱の設置マニュアル(*1)の補足

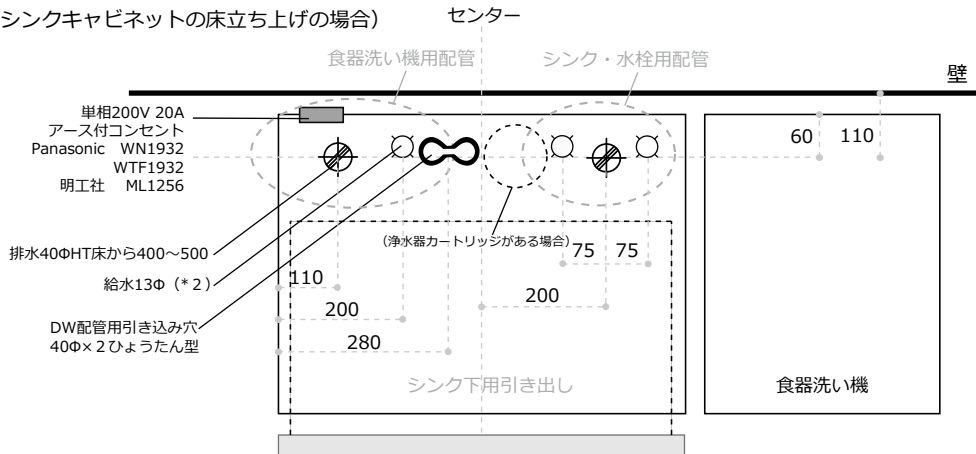
1. 配管

取り付け位置

食器洗い機の背面に配管スペースが取れないため、シンク下スペースに配管します。図は食器洗い機がシンクの右、水栓がシンクの右につく場合のパターンです。

*食器洗い機がシンクの右、水栓がシンクの左につく場合は、水栓用の配管はキャビネットセンターを境に左右反転、食器洗い機用配管はキャビネットセンターを境に右に移動してください。また、食器洗い機がシンクの左につく場合、右につく場合の配管をすべてキャビネットセンターを境に左右反転してください。

(幅80cmシンクキャビネットの床立ち上げの場合)



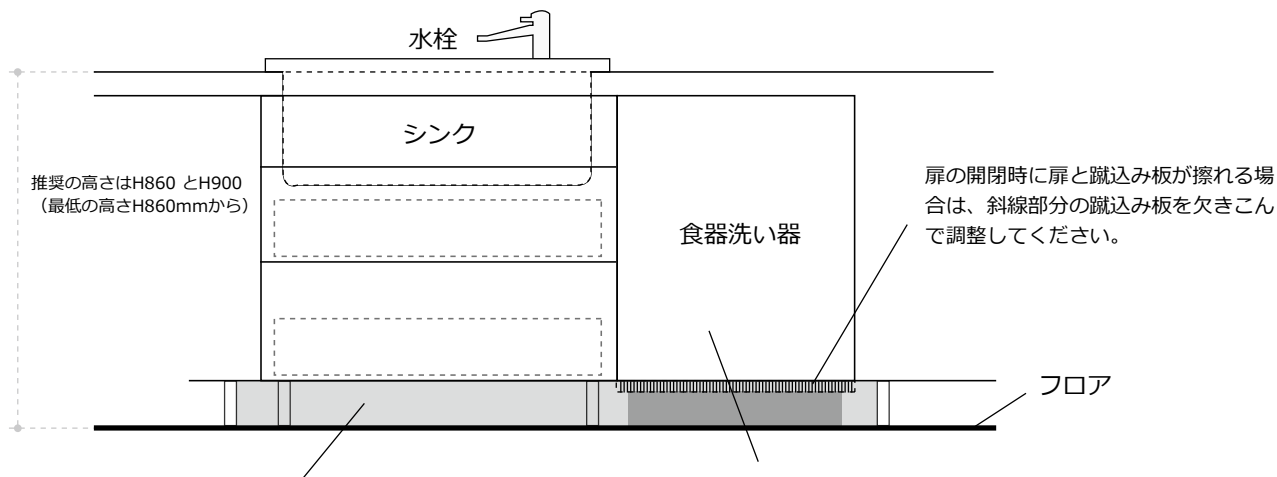
(*1) 設置の際は、必ず設置マニュアルをご確認ください。

(*2) 商品の給水ホースと垂直に下から結束してください。

- ・シンク下に引き出しを設置する場合は、スペースに余裕がないため、立ち上げ位置に注意してください。
- ・幅60cmシンクキャビネットの場合は、シンクキャビネットに引出しを設置することは出来ません。
- ・DOMSJÖ/ドムショー シンク (401.124.49/101.740.14) の場合、幅60cmシンクキャビネットと食器洗い機の間幅30cm以上のキャビネットを設置し、食器洗い機用の配管には、真ん中のキャビネットを配管スペースとして使用してください。真ん中のキャビネットの棚上段は収納として使えます。もしくは、シンク下を配管スペースとして使用することもできますが、その場合、シンクキャビネットに引き出しを設置することはできません。
- ・シンクキャビネットの後方の脚は、配管に当たらないようはずした状態で施工したほうがスムーズにできます。ただし位置によっては蹴込み板取り付け用に必ず必要な場合もあります。
- ・ATLANT/アトラント排水トラップと食器洗い機の排水ホースは直接接続できません。

2. 蹴込み板、ドアフロント

取り付け位置



蹴込み板は、両サイドのキャビネットの脚を使用して取り付けます。その際、食器洗い機の下も通して取り付けてください。

- ・ワークトップH860の場合、蹴込み板H110を使用します。
(少し隙間がでますが、蹴込み板が扉面から少し後方に下がっているので目立ちません)
- ・ワークトップH900の場合、蹴込み板H160を使用します。
- ・それ以外の高さの場合は、キッチン部はCAPITA/カピタ 伸縮脚もしくはUTBY/ウートビー 伸縮脚を使用し、食器洗い機の下部のみ、メーカー指定品「巾木キット (ステンレス製)*」を別途ご購入の上、取り付けすることもできます。

食器洗い機には、W600×H700mmの扉 (別売り) を使用します。どの扉でも使用できますが、扉の重さが3.7kg未満のULRISKDAL/ウルリスクダール 扉 (約2.7kg) とFAGERLAND/ファゲルランド 扉 (約2.4kg) TIDA/ティダホルム 扉 (2.26kg) を使用する場合、3.7kg以上になるよう、背面に鉄板等 (別途ご用意ください) を貼り付けて設置してください。または、RUBRIK/ルブリーク ステンレススチール 扉を使用することもできます。取っ手も好きなものを取り付けられますが、扉の表面から釘頭が飛び出さないよう、座彫りをしてください。(開閉しづらいので、ノブは避けてください。)

*イケアストアでは販売しておりません。

販売先：エレクトロラックス・ジャパン株式会社 サービスご相談窓口 0120-5445-07

